

道路土木インフラセミナー

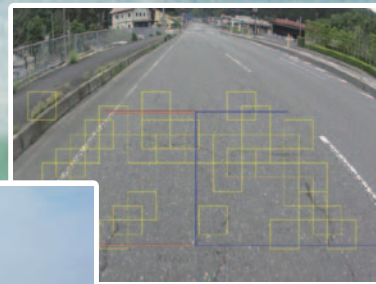
新建新聞社主催 建設実務者スキルアップセミナー

建コン
測量系CPD
CPDS
5～6単位相当

※単位確定次第
Webサイトに
公開致します

道路【最新技術】編

インフラ長寿命化と
生産性向上につながる
ICT技術の積極活用事例



道路の構造物の点検が本格化し、維持補修の取り組みが進む中、現場では、生産性向上や担い手確保が課題となっております。その解決策の一つがICT技術ですが、現場で活用するためにはこれらへの深い理解が不可欠です。当セミナーでは道路の舗装、構造物などの調査点検・工事で導入が進む最新技術に焦点を当てます。点検や補修分野で全国的にも先進的な事例を第一人者が解説するほか、自治体の現状や制度の変更点なども紹介します。ICTなどの先端技術をどのように現場に活かすのか——。そのヒントがこのセミナーで見つかるはずです。

2019年(平成31年)

日 時

4月26日(金)

申込締切4月22日(月)17:00

9:30～16:40(受付開始9:00)

会 場

松筑建設会館
3階大会議室(松本市島立996)

定 員

100名

※定員になり次第、
受付を終了させていただきます。

参加費

- ①共催団体価格(※1) 税込 7,560円
- ②購読者価格(※2) 税込 8,640円
- ③一般価格 税込 10,800円

(テキスト昼食代込)

※1 共催団体加盟企業所属者対象
※2 新建新聞・新建JOHO購読者対象

主催▶新建新聞社 共催▶(一社)建設コンサルタツ協会、(一社)長野県測量設計業協会 ※予定
後援▶国土交通省 中部地方整備局、長野県、長野県建設業協会、長野県土木施工管理技士会 ※予定
お問い合わせ▶新建新聞社 建設メディア事業部 データ情報課 セミナー事務局

TEL.026-234-1118 FAX.026-235-8386 担当:荒井、林部、伊藤、松浦

講演内容・申込方法等は
裏面をご覧ください

Session 1 9:30~10:30(60分)
『道路保全の現状と新定期点検要領等について』
国土交通省 中部地方整備局 道路部 道路構造保全官
竹内秋広氏

H26年度から開始した道路構造物の定期点検はH30年度で一巡目を終え、今年2月に定期点検要領(技術的助言版)が改訂された。これまでの点検結果から道路保全の現状と課題、新点検要領の変更点等について解説を行う。

Session 2 10:40~11:40(60分)
『長野県の橋梁メンテナンスに関する取り組み』
長野県建設部 道路管理課 課長 中田英郎氏

橋梁など道路施設の定期点検の1巡目が終了し、市町村の中長期にわたる点検の担い手確保や財政負担軽減などの課題が浮き彫りになるなか、県では、公・学・民6団体による「信州橋梁メンテナンス支援協議会」を設立した。当講座では、新年度からスタートする同協議会の活動内容を紹介するほか、これまでの橋梁点検の結果や2月に改定された国の道路橋定期点検要領のポイントについて解説する。

Session 3 11:50~12:30(40分)
『1DAY PAVEの有効活用事例』
技術プレゼンテーション

Session 4 13:30~14:20(50分)
『中央道リニューアル工事・集中工事の取り組み』
中日本高速道路 八王子支社 保全・サービス事業部 副部長
佐藤久長氏

中央道では開通から概ね40年が経ち、抜本的な修繕を必要とする箇所が増加しているとともに、修繕規模の大規模化により長時間の規制を要する工事が必須となっている。そのため、安全かつ着実な修繕工事の実施はもちろんのこと、高速道路の規制方法の工夫や、利用者へのきめ細やかな情報提供が求められている。当セッションでは、NEXCO中日本・八王子支社管内で実施している中央道リニューアル工事、中央道集中工事での取り組みを紹介する。

Session 5 14:30~15:30(60分)
『AIを活用した舗装点検技術の開発』
福田道路株式会社 技術研究所 所長
田口 仁氏

福田道路では、舗装の維持補修時代における点検業務の重要性を踏まえ、省力化・効率化を目的として、路面評価にAI(人工知能)活用する技術の開発を行っている。開発したシステムは、市販のビデオカメラで撮影した路面の動画をAIで解析し、ひび割れとわだち掘れに関する診断区分を数値化するものである。本講演では、システムの概要に加え、舗装の維持補修時代における点検業務の課題について述べる。

Session 6 15:40~16:40(60分)
『「i-Construction」の取組み』の紹介
大成ロテック株式会社 技術部技術推進室 室長
山田敏広氏

H28年より弊社の建設現場にて実施している生産性向上の取組みである「i-Construction」の事例紹介を基に、これらの活用において注意すべき点や、顕在化された課題などの話題を提供する。BIM/CIMモデルを活用した無電柱化工事での事例紹介やICT土工、ICT舗装の事例紹介、ICT「保全/修繕」においてもいち早く取組んだ、高速道路の「保全/修繕」工事におけるICT舗装の取組みを併せて紹介する。

申込はセミナー案内サイト

<http://www.shinken-news.jp/seminar/>

または

建設情報ナビ

セミナー

検索

お申込み方法

- ①記載のURLから申込サイトにアクセスし、受講登録を行ってください。
- ②登録完了後、セミナー事務局より受講料のお支払い先に関する案内メールを送信させていただきます。お手数ですが記載する指定振込先に受講料のご入金をお願いいたします。
- ③入金確認が取れましたら、受付票と領収書をメール送信させていただきます。

注意点

- ※受講者の変更がある場合は、開講3日前までに書面など確認が容易な方法で事務局までご連絡ください。また、同期日(開講3日前)以降のキャンセルは原則お受けしておりません。やむを得ず欠席される場合、受講料は返金いたしかねますので何卒ご了承ください。
- ※受付票はセミナー当日にご持参ください。会場受付の際に必要となります。

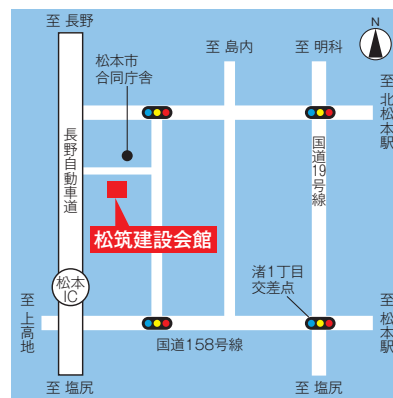
学習履歴申請(受講証明書)について

- 当セミナーでは、継続学習制度別に受講証明書を発行させていただきます。詳しくはご入金確認後送付の「受付票」でご確認ください。

お問い合わせ先

セミナー事務局(新建新聞社内) 建設メディア事業部 データ情報課

TEL 026-234-1118 FAX 026-235-8386(担当:荒井、林部、伊藤、松浦)



▶電車でお越しの場合
松本電鉄上高地線 信濃荒井駅(下車) : 徒歩15分
大庭駅(下車) : 徒歩15分
JR松本駅 タクシー : 10~15分
松本周遊バス : 10~15分
タウンズニーカー西コース
(乗車) 101 松本駅アルプス口
→(下車) 107 合同庁舎→(徒歩) 1分

※駐車場に限りがございます。
お越しの際はできるだけ
公共交通機関のご利用をお願い致します。